

道徳だより

4年2組

主題名 「友達への注意」 内容項目 友情、信頼 (B主として人との関わりに関すること)

題材名 「大きな絵はがき」 P.123~125

ねらい 友達と互いに信頼し合い、助言し合いながら、友情を深めていこうとする心情を育てる。

1 教材について

本教材は、料金不足の定形外郵便をもらった広子が、送り主である友達の正子に忠告しようかしないでおこつたかと迷う話である。広子は、母の「お礼だけ言ってあげたほうがいい」という言葉と、兄の「忠告してあげたほうがいい」という考えの間で揺れ動く。正子と友達として過ごした日々を思い出し、きっと分かってくれると考えて、教えることを決心した広子の心の葛藤をしっかりと見つめ、真に友達を思う気持ちについて考えることができる話である。 ※道徳 指導書 研究編より

2 授業の様子

自分が広子さんの立場ならどうするか、考えをワークシートに書き、クロムブックを使って班で交流しました。

○あなたが広子と同じような絵はがきをもらったら、どうしますか。理由も考えましょう。

- 正子さんに、料金不足だったことを正直に言う。(2人)
 - ・他の人にもまた同じことをしてしまったら、正子さんが嫌われるかもしれないから。
 - ・間違っていることを教えないと、本当の友達とは言えないから。
 - ・正子さんなら分かってくれると思ったから。
 - ・足りないことを言った方が、相手のためにもなるから。
- 正子さんに料金不足のことは言わず、はがきのお礼だけ伝える。(6人)
 - ・言ったら嫌な気持ちにさせてしまうから。
 - ・「不足していたよ」よりも「ありがとう」のほうが嬉しいから。
 - ・広子さんはいろいろしてくれているから、そのお礼にはらってあげる。

3 ふり返り

○今日の学習を通して、「よい友達関係」とは、どのような関係だと思えますか。

- ・本当のことや間違っていることを言える関係(言い過ぎは×)。
- ・相手の気持ちを考えることができる関係。

4 担任より 一言

授業の初めに『よい友達関係』とはどんな関係でしょう。と聞いたところ、「助け合う」や「協力し合う」という意見が多数あがりました。授業後に同じ質問をしたところ、「正直に言い合える」「相手のことを思う」という意見が多く付け足されていました。料金不足を伝えるか伝えないかについて様々な意見が出ましたが、相手のことを思う理由がそれぞれ考えられていて、本単元の目標が達成できていたと感じました。